

～ 10月は3R月間 循環型社会の実現に向けて ～ 既存のリサイクルルートが確立していない廃プラスチック回収を開始

イオンは、資源となる廃プラスチックを正しく分別・回収して新たな製品の原料としての活用を増やし、地域全体での循環型社会の実現に寄与したいと考えています。

一般家庭から排出されるさまざまな廃プラスチック※¹を資源としてイオンの店舗で回収し、新たな製品の原料として再利用するマテリアルリサイクル※²の普及拡大を目指します。



イオンは長年、店頭での使用済み容器回収およびリサイクルに取り組んでいますが、ペットボトルやトレイといった容器以外の使用済みプラスチック回収についても取り組みを強化したいと考えております。そこで、イオンの店舗を様々な廃プラスチックの回収拠点として活用していただき、地域の自治体や企業、団体と連携して、既存のリサイクルルートが確立していない廃プラスチックを製品の原料としてリサイクルする試みに着手します。

まず、10月16日（日）からイオンモール北大路（京都市北区）に回収ボックスを設置し、ご家庭から排出される様々な廃プラスチックを資源として回収します。

より多くの資源をお持ちいただくための市民の方々への情報発信や、集まった資源の活用方法についての意見交換などで、京都市の皆さまのお力をお借りします。

また、集まった資源の回収、リサイクル、製品化は、テラサイクル※³が持つノウハウやリソースを活用させていただきます。

イオンは、2007年にジャスコ東山二条店（京都市左京区）の食品売場からレジ袋の無料配布中止を開始しました。2012年に京都市と地域活性化包括連携協定を締結し、現在も様々な環境対策に共に取り組んでいます。イオンの環境活動においてゆかりが深い京都市から開始する今回の取り組みを、イオンが目指すコミュニティリサイクルのモデルケースとし、将来的には、複数地域、複数店舗での取り組みへと発展させてまいります。

今後も、イオンは地域の皆さまをはじめとするステークホルダーの方々と相互に緊密な連携を図り、双方の資源を有効活用した地域社会の一層の活性化に取り組んでまいります。

※¹ 廃プラスチック：テラサイクルの既存リサイクルプログラムで対象となっているもの。

（例）化粧品容器、洗剤容器、シャンプー容器、使用済みつめかえパック、パウチタイプゼリー飲料容器、ハブラシ、キッチンスポンジ、チャック付きポリ袋 など

※² マテリアルリサイクル：廃棄物を新たな製品の原料として再利用し、物から物へとリサイクルする方法。

※³ テラサイクル：テラサイクルは、現在の複雑化する廃棄物問題に対し、革新的で持続可能なソリューションを提供するソーシャルエンタープライズで、リサイクル、再生資源、リユースを推進するプラットフォームを構築・運営しています。廃棄物を再考し、実用的なソリューションを開発する国際的リーダーとして世界21カ国で活動しています。<https://www.terracycle.com/ja-JP>